

第7部

家計と暮らし

第1章 家計

- 140 消費者物価指数
- 142 10大費目別にみた消費支出の特徴
- 143 収入と支出のバランス
- 144 全国家計構造調査からみた消費の特徴

第2章 暮らし

- 145 住みやすさ
- 146 情報通信機器の保有及びインターネットの利用状況

第3章 協働

- 147 ボランティア活動の行動者率





住みやすさ

「奈良県は住みやすい」と回答した人の割合は ほぼ3人に2人



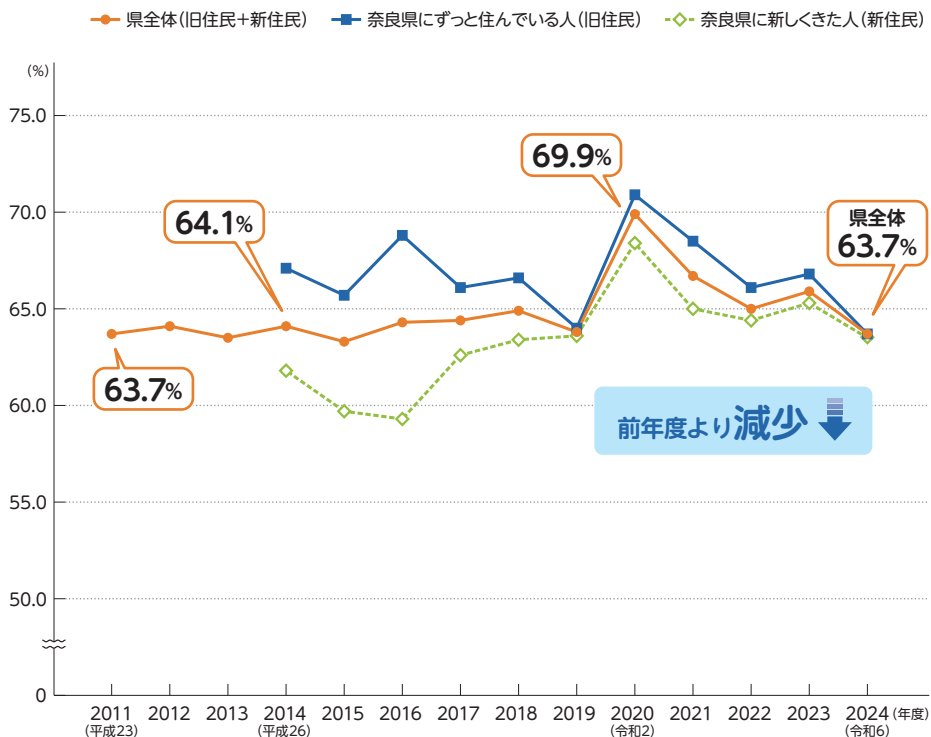
令和6年度県民アンケート調査で、「奈良県は住みやすい」と回答した人の割合は、63.7%となりました。前年と比較すると、2.2ポイント減少しました。

「奈良県は住みやすい」と回答した人の割合は63.7%となり、2014(H26)年度と比較すると、0.4ポイント減少しました。この10年間では、2020(R2)年度に69.9%と大きく上昇しましたが、その後は減少傾向になっています。

- 「住みやすい」と回答した人…「奈良県は全体的に住みやすい県だと思いますか。」の問いに対し、「とても住みやすい」又は「どちらかといえば住みやすい」と回答した人。
- 「旧住民」、「新住民」の分類…2014(H26)年度より集計区分を追加。「あなたは生まれたときから奈良県にお住まいになっていますか。」の問いに対する回答(「はい」または「いいえ」)で分類。2024(R6)年度より、「あなたは奈良県に住み始めてから何年ですか」の問いに対する回答(「出生時から」とそれ以外)で分類。

奈良県は住みやすいと回答した人の割合

資料：県政策推進課「県民アンケート調査報告書」





情報通信機器の保有及びインターネットの利用状況

スマートフォンを保有する世帯の割合は全国12位



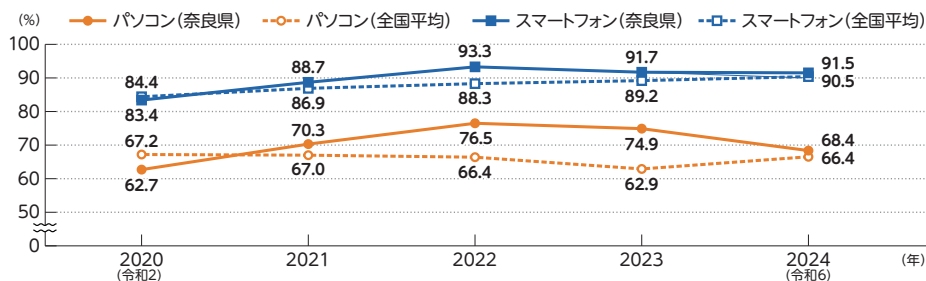
令和6年通信利用動向調査によると、スマートフォンを保有する世帯の割合は91.5%(全国12位)で、前年より▲0.2ポイント減少しました。

パソコンを保有する世帯の割合は68.4%(全国11位)で、前年より▲6.5ポイント減少しました。また、スマートフォンを保有する世帯の割合は、91.5%(全国12位)で、前年より▲0.2ポイント減少しました。

過去1年間のインターネットで利用した機能・サービスと目的・用途をみると、「SNS(無料通話機能を含む)の利用」の割合が77.6%(全国22位)と最も高く、次いで「電子メールの送受信」が76.7%(全国9位)となっています。

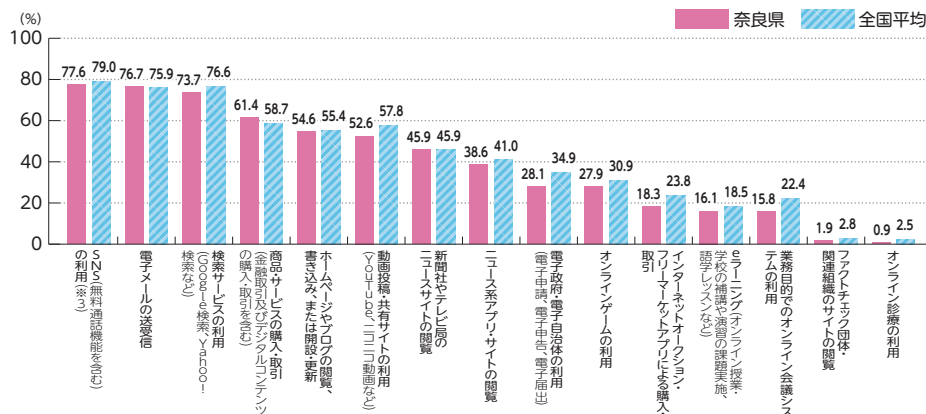
パソコン及びスマートフォンの保有率

資料：総務省 通信利用動向調査



過去1年間にインターネットで利用した機能・サービスと目的・用途(複数回答)

資料：総務省 通信利用動向調査



※1 通信動向利用調査(世帯編)の問1の回答結果より「パソコン」、「スマートフォン」を保有する世帯の割合を抜粋。

※2 通信動向利用調査(世帯構成員編)問3(1)の回答結果より、「その他」、「無回答」を除いた回答を一部抜粋(問1で「1.はい」に○を付けた人が回答した過去1年間にインターネットで利用した機能・サービスと目的・用途)。

※3 Facebook、X(旧Twitter)、LINE、mixi、Instagramなど。